

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CoCoラボ・やわらぎ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 16日		～ 令和 7年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 7年 10月 16日		～ 令和 7年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースが広い。 近隣に下馬公園がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られたスペースで、身体を思い切り動かし発散できるプログラムを提供します。 気候の良い日は、下馬公園へ出かけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 思い切り活動できるように最低限必要なものだけ置くようにし、怪我・事故防止に努めています
2	<ul style="list-style-type: none"> こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成するよう努めている。 保護者・児童に共感的に支援をしている。 満足度upに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントをすることで、情報共有が大事だと考えています。 否定せず、気持ちを受け止めることを第一に心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と児童に寄り添いながら、支援しています。 支援員や各関係機関と情報を共有し、分析したことを計画書作成時に活かすようにしています。
3	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している。 ICTシステムを導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> Instagramを始めました。活動の様子や、事業所の取り組み、行事など、ご家族だけでなく今後利用を検討されている方へ発信しています。 ICTを導入したことで、事務作業の負担軽減、お迎えの際にサインいただかなくても、QRコードの読み取りだけで良くなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 余裕がない時、インスタの更新がタイムリーに出来ない場合があるので、努力したいと思います。 療育に特化したアプリやLineでやり取りを希望されている方もいらっしゃるので、検討していきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 室温について、ご指摘がありました。今までは一定温度で設けていました。体感も個人差があり、合わせる事が難しい場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 湿度計や気温計を置き、数値に達したら設定温度を変える等していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の輪を広げることは大切ですが、児童クラブとの交流の目的が今のところ定まらず、児童クラブとのネットワークが築けていないのが要因です。 	<ul style="list-style-type: none"> 放デイから児童クラブへ移行できそうなお子様など対象に、特性を理解し受け入れてもらえるような機会になることを期待して、まずは、本人・家族のニーズを確認し交流の機会の必要性について検討したいと思います。 地域のお子様とは、やわらぎまつりで交流する機会があります。また、公園へ遊びに行った時に、遊ぶこともあります。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		CoCoラボ・やわらぎ				公表日	令和 8年 1月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・活動室と学習室を分けている。 ・おもちゃなどがしっかり収納されていて活動に使えるスペースが広い。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9	0	・法定基準は満たしている。	今年は1年生が増えたため、特に宿題の時間に職員配置を手厚くしています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	1	・児童がものをおくカゴが名前だけでなく、写真付きなどわかりやすくなっている。	室内は出来るだけシンプルに、情報量を少なくするように配慮しています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9	0	・毎日朝に掃除をしている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	0	・隣の地活スペースを利用できる。 ・心を落ち着かせるための部屋もある。 ・静養室、ベッドあり。	静と動の活動が同時に出来るように3部屋、目的に合わせて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・ミーティングと朝礼時に確認している。	振り返りシートを作成し、日々の気づきを話し合い、次へつなげるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・お迎えの時やメールなどで意見を受け付けている。	年1回、振り返りを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・週に1回ミーティングを行い、情報を共有している。 ・各MTに多職種参加している。	議事録を作成し、業務やシフトの関係で参加できない職員へ伝達をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	・外部評価なし。	外部評価を導入していないので、ボランティアなどを受け入れることで外の目を入れる工夫を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・外部研修なども積極的に参加している。 ・定期的に開催している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・公式LINE発信。 ・書面で保護者へ月1回お渡ししている。	5領域プログラムは昨年度作成し、ホームページで公表しています。見学時にも、説明をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		半年ごとにアセスメントを行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・情報共有をして、計画書の改善など話し合いが行われている。	個別支援会議を開き、主に支援の中心となる職員で検討しています。全員の参加が厳しいのが課題です。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		カルテにつづり、全員が目を通せるようになっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		アセスメントシートと日々の記録を元に確認するようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		5領域プログラムは昨年度作成し、ホームページで公表しています。見学時にも、説明をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・企画や流れ（スケジュール）などチームで話し合っている。	毎月更新しています。バランスよく組み立てられるように気を付けています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		5領域に基づいてバランスを考えながら日々工夫しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・5領域にあわせてバランスの良い活動を提供している。	配置基準は満たしているものの、特性がある児童の小集団活動を行いながら、個別活動を取り入れることが難しい場合もあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・毎日出勤時に打合せをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		諸事情により、振り返りや打ち合わせができないこともあり翌日に持ち越すことがあります。忘れないように気を付けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・毎日記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・強制するのではなく、どうしたいかを聞くなど児童の意見を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・カンファレンス等を通し、適宜連携できている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・学校教員に対して、必要な情報を共有することもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	対象児童無し	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	・12/1に受講を予定している。	児童館等との交流について、保護者の考えや意見もお聞きしたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	・法人イベントを通じて地域交流の機会をつくっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	障害児支援事業所連絡会へ参加しています。	自立支援協議会をオンラインで見学できるようなので、時間を作り、視聴したいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・保護者の迎え時にその日の出来事など詳細に報告している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・年に1度程度、親子参加型のイベントを行っている。	保護者のニーズに沿った企画を考えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に、説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・ひとつひとつ説明をし納得いただけた場合に書面などにサインをいただくようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・メールなどでも相談に応じている。	アプリやLINEでやり取りを希望されている方もいらっしゃるので、検討していきたいです。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・ヨガ、まつり、スポフェス開催 ・小学校等卒業したと同時に、放デイを終了したお子様へ、同窓会イベントを企画した。	保護者だけでなくきょうだい参加型のイベントを期待している方もいらっしゃるのでは、検討していきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情などがあった場合、職員間で共有し解決に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・インスタ、おたより（毎月） ・インスタグラムで日々の様子をブログに挙げています。	余裕がない時、インスタの更新がタイムリーに出来ない場合があるので、努力したいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・文字だけでなくイラストも使って支援等している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・おまつり実施	開催時期、スペースなど、どんな方でも参加しやすい環境でお祭り出来るように情報収集しながら取り組んでいきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・避難訓練を定期的に行い、防災意識を高めている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・アレルギーなども確認し、対応している。 ・受け入れ時、フェイスシートを提出していただいている。	利用期間が長くなり、フェイスシートの情報が古くなっているお子様もいるので、点検と更新依頼をするようにしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・医師の指示書の提出をお願いしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成している。BCP計画も事務所の手に取りやすい場所に置いている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	・事業所に掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・週1回のミーティングで話し合い、防止に努めている。	その日のうちに、対策を話し合い職員へ周知しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・研修参加などを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・個別支援計画書の説明時に、必ず口頭で説明している。		